



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年7月20日

上場会社名 小松ウオール工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7949

URL <http://www.komatsuwall.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加納 裕

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 熊田 雅巳 (TEL) 0761-21-3131

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	6,642	△12.8	55	△85.5	101	△74.2	53	△78.3
2020年3月期第1四半期	7,620	12.5	384	204.8	392	193.5	244	266.1

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期第1四半期	5	74	-	-
2020年3月期第1四半期	26	55	-	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	39,704	33,705	84.9
2020年3月期	41,351	34,057	82.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 33,705百万円 2020年3月期 34,057百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2020年3月期	-	40.00	-	45.00	85.00	
2021年3月期	-					
2021年3月期(予想)		40.00	-	45.00	85.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	14,500	△14.9	200	△86.0	260	△82.0	140	△84.8	15	15
通期	33,000	△12.0	1,500	△59.9	1,580	△58.1	1,000	△61.2	108	19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	10,903,240株	2020年3月期	10,903,240株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,656,265株	2020年3月期	1,672,865株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	9,242,779株	2020年3月期1Q	9,224,496株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式(2021年3月期1Q 219,100株、2020年3月期 235,700株、2020年3月期1Q 240,600株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」の記載事項をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、経済活動が制限される等厳しい状況にあり、緊急事態宣言解除後も依然として先行きの見通せない状況が続いております。

このような状況にあって当社は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、各自治体や所管保健所等と連携しながら、感染の抑制に向け対策を講じてまいりました。生産部門においては、業務スペース分散など感染リスクの低減を図りつつ、業務を継続できる体制を維持してまいりました。営業部門においては、在宅勤務・時差出勤等を実施し、対面による営業活動を自粛してまいりました。こうした中、緊急事態宣言の発令による顧客企業の営業活動の自粛に伴い、受注活動の停滞は避けられず、当初見込んでいた工事の受注時期が遅れる等影響が出ております。また受注している工事の中断や遅延が生じるなど、厳しい事業環境で推移しました。

当第1四半期累計期間の経営成績につきましては、上記の状況から官公庁向け、民間向けともに大都市圏を中心に低調に推移いたしました。

売上高全体としては66億42百万円となり、前年同四半期と比較して12.8%の減少となりました。受注残高におきましても、前年同四半期比8.3%の減少となっております。

利益面につきましては、減収による影響を業務の効率化等で補うことができず、売上総利益率は33.5%（前年同四半期比0.5ポイント悪化）となりました。また、販売費及び一般管理費の節減に努めましたが、人件費等の固定費を吸収しきれず、その結果、営業利益は55百万円（前年同四半期比85.5%減）、経常利益は保険積立金の解約による受取保険金39百万円等があり、1億1百万円（前年同四半期比74.2%減）、四半期純利益は53百万円（前年同四半期比78.3%減）となりました。

当第1四半期累計期間の品目別売上高、受注高及び受注残高は次のとおりです。

品目別売上高、受注高及び受注残高

(単位：百万円)

当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)						
品目	売上高		受注高		受注残高	
	金額	前年同 四半期比 (%)	金額	前年同 四半期比 (%)	金額	前年同 四半期比 (%)
可動間仕切	2,643	89.5	2,670	79.0	3,062	97.6
固定間仕切	1,539	89.5	1,950	87.0	4,447	88.5
トイレブース	1,091	89.7	1,590	89.0	2,841	93.5
移動間仕切	1,027	78.7	1,148	69.9	3,934	88.8
ロー間仕切	123	76.9	104	60.4	54	72.2
その他	217	82.0	373	118.2	316	115.8
合計	6,642	87.2	7,838	82.2	14,657	91.7

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間の末日における財政状態は、総資産は397億4百万円となり、前事業年度末と比較して16億46百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は250億16百万円となり、前事業年度末と比較して14億23百万円の減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金30億42百万円等の減少と、現金及び預金17億82百万円等の増加によるものであります。固定資産は146億87百万円となり、前事業年度末と比較して2億23百万円の減少となりました。これは主に、投資その他の資産に含まれる保険積立金2億42百万円等の減少等によるものであります。

負債の部では、流動負債は42億37百万円となり、前事業年度末と比較して13億36百万円の減少となりました。これは主に、買掛金8億7百万円、未払法人税等6億65百万円、賞与引当金6億29百万円、流動負債「その他」に含まれる未払消費税等2億61百万円等の減少と、流動負債「その他」に含まれる未払人件費11億7百万円等の増加によるものであります。固定負債は17億61百万円となり、前事業年度末と比較して41百万円の増加となりました。

純資産の部では、純資産の総額は337億5百万円となり、前事業年度末と比較して3億51百万円の減少となりました。これは主に、剰余金の配当4億25百万円による利益剰余金3億72百万円等の減少によるものであります。以上の結果、自己資本比率は84.9%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきまして、2020年4月30日公表の2020年3月期決算短信において未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報を元に算定いたしました。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,462	14,244
受取手形及び売掛金	10,462	7,420
電子記録債権	2,591	2,343
たな卸資産	741	837
その他	183	170
流動資産合計	26,440	25,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,378	10,468
機械装置及び運搬具	6,870	6,884
土地	4,646	4,646
その他	1,336	1,461
減価償却累計額	△11,314	△11,499
有形固定資産合計	11,917	11,962
無形固定資産		
484	484	481
投資その他の資産		
その他	2,517	2,251
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	2,509	2,243
固定資産合計	14,911	14,687
資産合計	41,351	39,704
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,962	1,154
未払法人税等	702	36
賞与引当金	1,095	465
その他	1,814	2,579
流動負債合計	5,573	4,237
固定負債		
退職給付引当金	1,398	1,436
役員退職慰労引当金	86	86
役員株式給付引当金	136	129
その他	97	108
固定負債合計	1,720	1,761
負債合計	7,294	5,998

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,099	3,099
資本剰余金	3,035	3,035
利益剰余金	30,551	30,178
自己株式	△2,674	△2,647
株主資本合計	34,012	33,666
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	44	39
評価・換算差額等合計	44	39
純資産合計	34,057	33,705
負債純資産合計	41,351	39,704

(2) 四半期損益計算書

(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	7,620	6,642
売上原価	5,033	4,416
売上総利益	2,587	2,225
販売費及び一般管理費	2,203	2,169
営業利益	384	55
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	4
受取保険金	—	39
受取家賃	5	5
その他	2	2
営業外収益合計	14	52
営業外費用		
売上割引	5	6
営業外費用合計	5	6
経常利益	392	101
特別損失		
固定資産除売却損	—	7
特別損失合計	—	7
税引前四半期純利益	392	93
法人税、住民税及び事業税	17	14
法人税等調整額	129	25
法人税等合計	147	40
四半期純利益	244	53

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関する会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。